

Multi-Interface Floating Backshell (MFB) ▶

Multi-Interface Floating Backshell (MFB) は堅牢な防水密封型カメラバックシェルを提供し、組み立て作業の効率を向上させ、設計の柔軟性を高めるとともに、さまざまな車両モデル全体のカメラ統合用途で信頼のおけるパフォーマンスを実現します。

利点と特徴

設計の柔軟性を向上

設計者がさまざまな車両モデルの統合を合理化するために役立ち、FAKRA、高速FAKRA-Mini (HFM)、Mate-AXなどの複数のインターフェースを利用できます。

組み立ての効率を改善

全方向±0.5ミリメートルのフロート範囲は、カメラモジュール組み立て中の嵌合ずれに対応し、カメラの歩留まりを改善します。

車両外用途のための耐水性

バックシェルにより、カメラモジュールがIP69K定格基準を満たす防水性と密閉性で確実に保護されます。

業界標準に対応

このバックシェルは、信頼性とパフォーマンスに関するUSCAR2-6規格とUSCAR17-5規格に適合しています。

業界標準	USCAR2-6、USCAR17-5
嵌合インターフェース	FAKRA、高速FAKRA-Mini (HFM)、Mate-AX
周波数	最大6GHz
防水	IP69K (ハーネスとハウジング付き)
フロート範囲	x、y、z軸±0.5ミリメートル
動作温度	-40~+105℃

信号整合性と熱管理の最適化

バックシェルは、プラスチックハウジング、アルミニウムハウジング、またはプラスチック/アルミニウムのハイブリッドハウジングで利用でき、設計者がコスト、信号整合性、熱放散の課題のバランスを取るために役立ちます。

高性能カメラシステムのサポート

最大6 GHzのデータ伝送周波数により、先進運転支援システム (ADAS) に必要な高解像度カメラの使用を可能にします。



Multi-Interface Floating Backshell (MFB) ➤

市場と用途

オートモーティブ

ADASカメラ

自律走行車両

商用車

レクリエショナルビークル

農業用機械

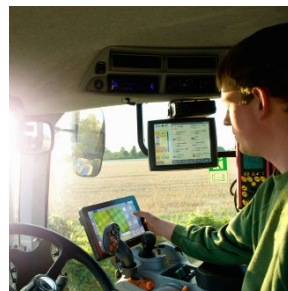
農業用車両カメラ

産業オートメーション

採掘および建設機器



ADASカメラ



農業用車両カメラ



採掘および建設機器

仕様

参考情報

梱包：トレイ

設計仕様：ミリメートル

RoHS：はい

ハロゲンフリー：はい

業界標準：USCAR2-6、USCAR17-5

嵌合インタフェース：FAKRA、高速FAKRA-Mini (HFM)、Mate-AX

機械的仕様

フロート範囲：x、y、z軸±0.5ミリメートル

構造タイプ：カメラバックシェル

密封基準：IP69K（ハーネスとハウジング付き）

物理的仕様

ハウジング：ポリブチレンテレフタレート（PBT）樹脂、アルミニウム、ハイブリッド

PCBジャック：フロート表面実装

作動温度：-40～+105℃（適用された電流によって生じた温度上昇を含む）

電氣的仕様

電圧：最大60V DC

電流：最大1.0A

周波数：最大6GHz

定在波比：

1.20（70～200MHz、AM/FM）

1.35（≤0.5GHz）

1.40（0～2GHz）

1.50（>2～3GHz）

1.60（>3～6GHz）

リターンロス（dB）：

20.83（70～200MHz、AM/FM）

16.54（≤0.5GHz）

15.56（0～2GHz）

13.98（>2～3GHz）

12/74（>3～6GHz）

挿入損失（dB）：

0.15（70～200MHz、AM/FM）

0.25（≤0.5GHz）

0.3（0～3GHz）

0.45（>3～6GHz）